

令和6年度事業報告書

(自 令和6年4月1日 ~ 至 令和7年3月31日)

公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

・美術館運営事業

1. 展覧会の開催

MOA美術館を年間296日、箱根美術館を年間304日、それぞれ開館運営し、尾形光琳筆国宝「紅白梅図屏風」をはじめ、所蔵する日本及び東洋の美術品を中心に特別展、企画展、平常展を開催した。

MOA美術館（総入館者数 458,577名）

北斎「富嶽三十六景」Digital Remix

令和6年4月19日(金)～令和6年5月21日(火)（期間入館者数 34,992名）

出陳件数 46件

「神奈川沖浪裏」や「凱風快晴」を高精細デジタル画像として撮影し、当館スタッフが、オリジナル・フィルム・プロジェクションとしてリミックスした。その他、作品が描かれた地点の現在の風景を撮影・展示し、作品の魅力が伝わるようにした。

広重「東海道五十三次」Digital Remix

令和6年5月24日(金)～令和6年7月1日(月)（期間入館者数 28,702名）

出陳件数 65件

デジタル・リミックスシリーズ第2弾として、歌川広重をとりあげた。保永堂版「東海道五十三次」全55作品の展観とともに、高精細デジタル画像で撮影した「東海道五十三次」を、オリジナル・フィルム・プロジェクションとして、作品の世界に没入する臨場感ができるように再構成した。

ポケモン×工芸展 -美とわざの大発見-

令和6年7月6日(土)～令和6年9月9日(月)（期間入館者数 131,496名）

出陳件数 89件

ポケモンと工芸の「かがく反応」を狙いに人間国宝から若手まで20名のアーティストが美と技に挑んだ作品を展示した。ポケモンの姿かたちを再現した作品、進化や通信、旅の舞台、効果抜群のわざなどゲームの記憶をたどる作品、そして日々を彩る器、着物や帯留などにポケモンが組み込まれた誘い込まれた作品を展示した。

Gold 明治の蒔絵 with 井上涼

令和6年9月13日(金)～令和6年10月28日(月) (期間入館者数 50,448名)

出陳件数 25件

明治期に活躍した漆芸作家たちの煌びやかな蒔絵の優品を展観すると共に、蒔絵を題材に制作された井上涼『忍者とゴールド・マキエ』を上映した。また、蓋裏など作品内部の蒔絵も映像化し、細部に至るまで美を追求した作品を紹介した。

光琳 国宝「紅白梅図屏風」×重文「風神雷神図屏風」

令和6年11月1日(金)～令和6年11月26日(火) (期間入館者数 54,022名)

出陳件数 54件

尾形光琳の最晩年に制作されたと考えられる国宝「紅白梅図屏風」と重文「風神雷神図屏風」を39年ぶりに一堂に展観した。この同時展観の他、宗達作品の学習から生まれた光琳の名品や所蔵の琳派作品を紹介した。また、安田靫彦筆「風神雷神図」や井上涼の「風神雷神図屏風デート」など、風神雷神をテーマとする近現代の作品もあわせて紹介した。

吉田博 今と昔の風景

令和6年11月29日(金)～令和7年1月21日(火) (期間入館者数 58,671名)

出陳件数 95件

吉田博の合計7年間を超える外遊から生まれた「米国シリーズ」、「欧州シリーズ」や、刻一刻と変化する海を捉えた「瀬戸内海集」シリーズなど、木版画の代表作約70点を展観した。また、博が描いた風景の現在の姿を撮影し、独創的な技術で表現された作品の魅力をオリジナル映像で比較展示した。

名品展 国宝「紅白梅図屏風」

令和7年1月24日(金)～令和7年3月11日(火) (期間入館者数 58,617名)

出陳件数 67件

「紅白梅図屏風」をはじめ野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、三大手鑑の一つとして著名な手鑑「翰墨城」の国宝3件の同時公開に加え、コレクションの各ジャンルを代表する名品を精選して展観した。

広重 EDO×TOKYO 今と昔

令和7年3月14日(金)～令和7年4月22日(火) (期間入館者数 52,540名)

出陳件数 69件

歌川広重が晩年に手掛け、のちにゴッホが模写するなど国内外で高い評価を得ている「名所江戸百景」などを展観した。また、広重が描いた場所の現在の風景を撮影・展示し、当館スタッフによるオリジナル・フィルム・プロジェクトとともに新たな魅力を発信した。

(臨時休館)

令和6年8月31日(土)～令和6年9月1日(日) 台風10号の大雨の為

箱根美術館 (総入館者数 90,797名)

常設展示

令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

重要文化財1件を含む縄文から江戸時代に至る日本古陶磁を中心とした常設展示を開催した。

別館

令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

創立者岡田茂吉の生涯と事蹟を、自筆書及びパネル等により紹介した。

特別展示

令和6年3月29日(金)～令和6年6月4日(火)

展示室1にて企画展示「色絵陶磁器」展の開催

令和6年6月6日(金)～令和6年9月4日(水)

展示室1にて「日本のやきものと近代の絵画」の開催

令和6年9月6日(金)～令和6年10月23日(水)

展示室1にて「吉田博 版画展」の開催

展示室2にて「松井康生展」

令和6年10月25日(金)～令和7年3月5日(水)

展示室1.2にて「現代の工芸 人間国宝を中心に」展の開催

令和7年3月7日(金)～令和7年6月3日(火)

展示室1にて企画展示「色絵陶磁器」展の開催

展示室2にて「松井康生展」

(臨時休館)

令和6年8月30日(金)15時～令和6年9月1日(日) 台風10号の大雨の為

2. 調査研究

今年度は実施した各展覧会の内容充実のための調査研究を行った。

3. 賛助会員(友の会)の拡充

会員数 6,951名

4. その他

季刊誌の発行

財団活動を広く知らせるための「美の友」誌を、4月・10月の2回発行し、MOA美術館来館者と友の会会員に配布した。

美術品や美術品画像データ等の貸出と意匠の許諾など

美術品の貸出しを、別紙資料1の通り行った。

静岡県への博物館再登録

改正登録博物館法に基づく静岡県へのMOA美術館の再登録を以下の通り完了した。

登録番号 1号

再登録年月日 令和7年3月14日

・表彰・コンクール事業

1. 第35回MOA美術館児童作品展

子どもたちが日頃取り組んでいる創作活動を奨励し、豊かな情操と美への関心を培うことを目的とした表記の全国展を開催した。併せて、その前に各地で行なわれる地方展への支援（参加賞の提供等）を実施した。

選考方法

全国各地において、実行委員会による地方展を開催し、「絵画の部」、「書写の部」の各最優秀作品を決定した。

令和6年度実績：289会場 応募数183,287点 参加校5,574校

海外参加11か国（アメリカ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン、刊、タイ、ペルー、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル）

地方展で選ばれた各会場最優秀作品は、MOA美術館全国児童作品展審査会において、文部科学省の教科調査官をはじめ美術教師、大学教授、書道協会会員等により文部科学大臣賞などの各賞を決定した。

賞の種類と点数

絵画の部（220点）

内閣総理大臣賞	1点
文部科学大臣賞	6点
外務大臣賞	3点
内閣府特命担当大臣賞	1点
農林水産大臣賞	1点
環境大臣賞	1点
日本PTA全国協議会会長賞	1点
全国子ども会連合会会長賞	1点

ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点
審査員賞	2点
金賞から入選	202点
書写の部(80点)	
内閣総理大臣賞	1点
文部科学大臣賞	6点
内閣府特命担当大臣賞	1点
農林水産大臣賞	1点
環境大臣賞	1点
日本PTA全国協議会会長賞	1点
全国子ども会連合会会長賞	1点
ボーイスカウト日本連盟理事長賞	1点
審査員賞	1点
金賞から入選	66点
団体の部	
文部科学大臣賞学校奨励賞	6校
内閣府特命担当大臣賞	2実行委員会

表彰ならびに展覧会の開催

展 示：令和6年12月27日(金)～令和7年2月12日(水)

入賞入選300点と団体の部をMOA美術館1階に展示した。

表彰式：令和7年1月26日(日)10:00～12:00 能楽堂

参加者 374名 受賞者(銀賞以上の60名)、保護者、来賓、実行委員会

来 賓

・文部科学省教科調査官	豊口 和士
・こども家庭庁成育局参事官(事業調整担当)付参事官補佐	久保 安孝
・農林水産省農産局総務課長	三上 卓矢
・環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室長	佐々木真二郎
・日本PTA全国協議会副会長	比嘉 里奈
・全国こども会連合会常務理事	杉浦 隆
・ボーイスカウト日本連盟理事長	水野 正人
・海外日系人協会事務局長	土方 陽美
・全国新聞社事業協議会常任幹事	橋本 英明
・元環太平洋大学副学長	村上 尚徳
・東京学芸大学名誉教授	長野 秀章
・東京学芸大学教授	加藤 泰弘
・東京家政大学教授	岡田 京子

児童作品を通じた国際交流「日タイ国際交流展」の開催

令和6年11月 ランシット教育科学センター（タイ王国パトゥムターニー県）

児童作品展ホームページの運用および改良を行った。

全国の実行委員会紹介ページの管理、情操教育活動の紹介など。

2. 芸術選奨

(1) 岡田茂吉賞

岡田茂吉賞は、昭和63年、日本美術界の発展に寄与することを目的として設立され、現代を代表する芸術賞として評価されている。

本年度は、実施年度に該当せず、行わなかった。

(2) 日本工芸会への賞の交付

日本伝統工芸展 奨励賞

日本伝統工芸陶芸展 MOA美術館賞

日本伝統工芸染織展 MOA美術館賞

日本伝統漆芸展 MOA美術館賞

伝統工芸日本金工展 MOA美術館賞

伝統工芸木竹展 MOA美術館賞

伝統工芸人形展 MOA美術館賞

伝統工芸諸工芸展 MOA美術館賞

. 体験活動等の事業

1. 日本文化の体験

茶の庭や茶室、茶道具等に触れて抹茶を喫する茶の湯を通して、日本文化を体験する事業を、美術館開館日に、MOA美術館の茶室一白庵及び箱根美術館の茶室真和亭において行なった。

また、日本の伝統的な建築（光琳屋敷、茶室）や庭園、或いは、能楽や舞踊、美術工芸、和食などの日本文化に触れ、体験する下記の事業を実施した。

体験プログラム（お茶、お花など）

旅行社とタイアップした茶室見学・体験

日経カルチャー、クラブツーリズム等をはじめとする各旅行社とタイアップし、MOA美術館の光琳屋敷や茶室一白庵のガイドツアーを実施し、日本の伝統的な建築・庭園空間を五感でお客様に味わっていただく取り組みを行った。

当ガイドツアーの内容は、近隣観光施設の従業員研修や東海地区の教育者・美術愛好者グループの研修等にも活用され、その受け入れを行った。

光琳乾山忌茶会

令和6年6月2日・6月3日に京都・嵯峨野の庭園「平安郷」にて開催した。

濃茶席 和泉市立久保惣記念美術館

薄茶席 金沢美術青年会

参加者数 6月2日 228名、6月3日 225名 計453名

ワークショップ(箱根美術館)

加盟する「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会」が企画・募集し、加盟施設を巡る「ミュージアムリレー」を5月8日に開催し、当館は近隣の「箱根写真美術館」「強羅公園」と共に1日で巡る企画として、名勝神仙郷内の庭園や各施設等の見学を行った。

能楽教室 体験・講座と能楽鑑賞(文化観光事業)

能楽器体験、能楽講座と能・狂言の鑑賞を行った。

期 日：令和6年7月31日(水)

講 座：大倉流小鼓方十六世宗家 大倉源次郎

演目解説：能 「船弁慶」 講師：シテ方宝生流 辰巳満次郎

狂言「蚊相撲」 講師：狂言方和泉流 野村萬斎

鑑 賞：宝生流「船弁慶」 和久莊太郎他

和泉流「蚊相撲」 野村 萬斎他

参加者数：能楽器体験60名、講座と鑑賞490名

K gei Dining 工芸ダイニング2024-舞踊・工芸・食-(日本博2.0事業)

鑑賞するだけでは知ることのできない工芸のもつ「用の美」を、参加者自身の手で確認していただく貴重な機会を提供することを目的として開催した。

プログラム

令和6年11月9日(土)・10日(日)・11日(月)・12日(火)10:00~17:30

(和食59名、洋食28名 合計87名)

卓話

<人間国宝によるミニト-ク>

11月9日(土) 宮田亮平(金工 元文化庁長官)

11月10日(日) 室瀬和美(重要無形文化財「蒔絵」保持者)

11月11日(月) 十四代今泉今右衛門(重要無形文化財「色絵磁器」保持者)

11月12日(火) 大角幸枝(重要無形文化財「鍛金」保持者)

食事会

11月9日・10日・11日 和食(会場：花の茶屋)

11月12日 洋食(会場：パティスリーヨロイツカ)

和食は花の茶屋料理長による懐石、洋食は鎧塚俊彦によるフレンチを提供

人間国宝・坂東玉三郎舞踊公演

一 お目見得 口上

二 残月

三 高尾 長唄囃子連中

工芸作品展示販売 / 展覧会鑑賞

展覧会：特別展 光琳 国宝「紅白梅図屏風」×重文「風神雷神図屏風」

・主催公演・講座・セミナー事業

1. 主催公演

伝統文化等の普及と芸術鑑賞会を通じた情操教育として、能楽堂における定期演能会やコンサート等の公演を行った。

熱海座公演

演能会 春公演

期 日：令和6年4月29日(月・祝) (入場者数 489名)

演 目：能「隅田川」 二十六世観世宗家 観世清和 他
狂言「入間川」和泉流 三宅右矩 他

井上涼 びじゅチューン！ライブ2024 in 能楽堂

期 日：令和6年9月22日(日) (入場者数 AM 501名 PM 501名)

演能会 秋公演

期 日：令和6年11月24日(日) (入場者数 496名)

演 目：能「雷電」宝生流 辰巳満次郎 他
狂言「雷」和泉流 野村万之丞 他

「坂東玉三郎 能楽堂特別舞踊公演」

期 日：令和6年11月9日(土)(入場者数 495名)

令和6年11月10日(日)(入場者数 494名)

令和6年11月11日(月)(入場者数 490名)

令和6年11月12日(火)(入場者数 487名)

演 目：口上 衣裳解説

残月

高尾 長唄囃子連中

出 演：坂東玉三郎 他

正月松囃子公演(日本博2.0事業)

期 日：令和7年1月1日(水)(2回公演 入場者数計 406名)

令和7年1月2日(木)(2回公演 入場者数計 540名)

令和7年1月3日(金)(2回公演 入場者数計 698名)

出 演：宝生流 辰巳満次郎氏 他

新春の舞(日本博2.0事業)

期 日：令和7年1月1日(水)(1回公演 入場者数 150名)

令和7年1月2日(木)(1回公演 入場者数 150名)

令和7年1月3日(金)(1回公演 入場者数 180名)

出 演：熱海芸妓置屋組合

琉球舞踊公演(日本博2.0事業)

期 日：令和7年2月16日(日)(入場者数 484名)

演 目：老人老女

高平良万歳 ～組踊「万歳敵討」より抜粋～

日傘踊り

鴨間の主

古典音楽独唱「仲風節」

稲まづん

出 演：宮城幸子(重要無形文化財「琉球舞踊立方」保持者)

西江喜春(重要無形文化財「組踊音楽歌三味線」保持者)

沖縄県立芸術大学 講師及び琉球芸能専攻学生

東儀秀樹コンサート(日本博2.0事業)

期 日：令和7年3月16日(日)(入場者数 495名)

演 目：越天楽幻想曲

ジュピター

ハナミズキ

New ASIA

大河悠久 他

出 演：東儀秀樹(雅楽師)

東儀典親(笙・ギター・ピアノ)

野護元(龍笛)

中村華子(笙)

2. 主催講座

光輪花クラブ

創立者の願いである生活の芸術化を具体化するべく、光輪花クラブにおいて美術品、短歌、茶の湯等の学びを取り入れたテキスト、カリキュラムに基づき「美的生活コース」「芸術コース」「芸術コース」を推進した。

(会員合計数 4,182名)

花サロン

生活の器を工夫していけばなの楽しみ方を提案する6回型の光輪花講習会を開催し、光輪花クラブへの入会を推進する入門コースとして開催した。

キッズ光輪花クラブ

光輪花クラブの子ども版として「キッズ光輪花クラブ」を開催した。

光輪花クラブ開講インストラクターへの支援(規準に基づく経費補助)

光輪花クラブを広報するためのいけばな展の開催、及び各種いけばな展への参加。

・育成事業

1. MOA美術館における研修

ユース研修

本年度は実施を見送った。

美による情操教育を、ボランティアとして推進するインストラクターのリーダー的人材育成として、リーダー養成研修（2回、254名）を国内各地区単位で開催した。

2. スクールプログラム

版画「東海道五十三次」を活用した出張授業の実施

3月10日 岩倉市立南部中学校 2年生 120名

3月11日 岩倉市立岩倉中学校 2年生 252名

「紅白梅図屏風」レプリカを活用した出張授業

令和7年1月16日 大田区田園調布学園 中学3年 201名

茶の湯体験

箱根美術館

令和6年7月19日（金）ボツワナ共和国大使一行・白百合学園茶の湯受入れ

参加者 ボツワナ共和国 大使 ホツィレエネ モラケ氏

一等書記官 カコロロ ジュリア レグワイラ氏他2名

昨年ウガンダ、タンザニアに続き、ボツワナ大使一行の近隣である函嶺白百合学園訪問に際し、同学園より日本文化体験として茶の湯のおもてなしを箱根美術館真和亭で受け入れたい旨の協力要請があった。

真和亭広間にて高等部の生徒4名が略盆点前により大使一行4名にお抹茶を差し上げた。お菓子やお茶のお運びを小学生が担当し、大使一行は大変喜ばれた。

3. 花による美育活動の推進 - MOA美術文化インストラクターの育成と資格の付与

インストラクター数 4,045名

インストラクターの資質向上を図る研修会を、美術館及び各地区で開催した。

インストラクター更新研修を実施した。

新規インストラクター審査を実施し、新たに57名に資格付与した。

光輪花クラブを中心とする美育推進会合を定期的で開催した。（年4回）

4. アートボランティア活動の充実

アートボランティア数 307名

新規ボランティアを募集し、8名登録された。

ボランティア業務に館内案内を主にした来館者との対話を増やしている

・経営基盤の拡充

1. 経営改善

顧客満足循環型経営への改善

展覧会等の企画充実、インバウンド対策、広報発信力強化等をめざし、専門的な技能・知識を有する人材を積極的に採用・育成した。

入館者増加に伴う雇用確保を目的に、従業員の勤務時間や処遇を改善した。

観光客の誘致・誘客の改善強化など

MOA美術館

熱海市内及び近郊の宿泊施設等へ「前売り券」の取り組みを行った。

熱海寮保養所協会との特別提携を行った。

近郊の宿泊施設との入館及びイベント等のセットプラン造成に取り組んだ。

市内観光の周遊性の促進

イ 市内文化施設での美術品展示（文化観光事業）

「名品展 国宝『紅白梅図屏風』」に併せて、市指定文化財「起雲閣」において紅白梅図屏風（レプリカ）を展示した。

ロ 「GOLD 明治の蒔絵」展のポスター・チラシに熱海芸術祭のロゴを掲載。

海外プロモーション活動の強化（日本博2.0事業）

静岡県海外駐在事務所、JNTOの現地事務所と連携し、台湾・タイ・香港・韓国・マレーシア・シンガポール等の現地旅行社への営業活動を行なった。

箱根美術館

箱根強羅公園との「共通割引チケット」相互販売に取り組んだ。

ユニークメニューの推進（文化観光事業）

- ① メインロビーや円形ホールや外観等の諸施設を撮影・ロケ地として提供し、映画、テレビドラマ、CM、MV、雑誌のスチール等の貸出を行なった。（35件）

2. 入館者増加をめざした取り組み

展覧会やイベントに焦点をあてた広報・営業活動の推進

ポスター掲示・チラシ配布

MOA美術館展覧会ポスターやチラシを熱海市内420か所及び全国140か所に掲出依頼した。

箱根美術館特別展示のチラシを作成し、箱根町および近隣市町内の110か所に掲出依頼した。

マスコミへの情報提供

展覧会、イベント等の情報を積極的に配信、取材の受入れを行なった。

地元市民に開かれた美術館に向けての取り組み

MOA美術館

熱海市役所・熱海市観光団体（観光協会、ホテル旅館協同組合、商工会議所）との連携強化を図った。

箱根美術館

施設内の庭園「神仙郷」が国の名勝指定を受け、庭園内の紅葉時期に町民や近隣町内の各施設、団体等を招待し、広くご理解いただくと共に、今後の広報宣伝に繋げた。

箱根町、箱根DMO、箱根プロモーションフォーラム等の観光関係団体と連携し、当館及び箱根全体への観光客誘致の連携を図った。

ホームページやSNS等による広報の充実

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどSNSの充実

展示会の見どころ、イベント情報、食、四季などの発信に努めた。

「フォロワー」の獲得数等をバロメーターに、内容充実に努めた。

デジタル技術を活用した美術品や諸施設の多言語解説の取り組み（文化観光事業）

大型タッチディスプレイ設置による諸施設の分かりやすい解説の強化

インバウンド受入れ満足度強化に向けて、館内施設の紹介や順路案内に活用しているタッチ型ディスプレイに、新たな言語として需要の多い繁体語、簡体語、韓国語の3言語を追加翻訳し掲出した。

デジタル技術活用のためのWi-Fi環境の整備

本年度は、継続して行ってきたWi-Fi環境整備の未着手部分として、屋外エリアのWi-Fi設置を行ったことにより、Wi-Fi速度が改善したことで、フォトスポットとして利用されるようになり、お客様サービスが向上した。

ラグジュアリー層向け企画実施の取り組み

- ① 開館前・閉館後の展示室貸切り鑑賞、「黄金の茶室」の特別鑑賞、茶の庭を巡るガイド付きツアーと和食処「花の茶屋」の食事、茶室「一白庵」のお抹茶体験など、参加者のニーズに合わせた高付加価値のプログラムを提供した。

熱海海上花火大会と学芸員解説付き特別展示鑑賞を懸け合わせたナイトミュージアムを開催した。（3月23日・27名「熱海駅開業100周年記念 E259系で行くあたま花火大会号・グリーン車指定席プラン」）

3. 施設の貸与事業

能楽堂などを、伝統文化の普及をはじめ当財団の目的に沿った用途に使用する団体・個人への施設の貸出を積極的に行った。

茶の庭・茶室の貸出

茶道裏千家淡交会熱海支部茶会

令和6年12月1日(日) 茶席貸出(一白庵、樵亭、スタジオ等)

参加総数: 172名

第38回 光琳茶会

令和7年2月22日(土)・23日(日)の2日間開催(光琳屋敷、一白庵、等)

参加者数: 初日 233名、2日目 158名 合計 391名

MOAあたま幼児学園・親子茶会

令和7年3月4日(火) 一白庵大広間 参加者数: 40名

能楽堂等の貸出

熱海地区安全運転管理協会講習会(10月16日)

熱海地区安全運転管理協会事業主会(11月6日)

令和6年熱海市二十歳の集い(1月11日)

第23回アタミ・ジュニアグランプリ表彰式(1月19日)

熱海市地震防災講演会(1月21日)

4. 美術館設備・施設(庭園を含む)改善・改修

美術館の安全確保に向けた対策

施設・設備の安全対策、サービス向上に向けての更なる改善・改修

MOA 美術館 ムアスカニア芝生エリアの花壇整備作業(文化観光事業)

MOA 美術館 ムアスカニア芝生エリアの花壇整備に伴う法面工事(文化観光事業)

MOA 美術館 ムアスカニア芝生エリアの花壇整備に伴う雨水対策工事(文化観光事業)

MOA 美術館 茶の庭 花の茶屋、二條新町入口庇の設置

MOA 美術館 消防設備システム本館(ロビー棟、管理棟)防災中継機3台更新
(国宝・重要文化財を保管する博物館等の防火設備補助申請)

MOA 美術館 高圧非常用発電機整備

MOA 美術館 黄金の茶室前ガラススクリーン設置(盗難防止対策)

MOA 美術館 一白庵 茶室系統ビルマルチエアコン更新

MOA 美術館 3階事務所サーバー室エアコン更新

MOA 美術館 防犯カメラシステムPC更新

MOA 美術館 収蔵庫系統冷却塔冷却水処理装置設置工事

MOA 美術館 空調機加湿器エレメント、フィルター交換工事

MOA 美術館 2階正面玄関前wi-fi環境整備(文化観光事業)

美術館の防災体制、危機管理体制の整備強化

MOA 美術館

イ 休館日の防犯体制強化の為、昨年度に引き続き休館日における入館受付・警備を警備会社に依頼・実施した。

ロ 防災訓練の実施(MOA 美術館 令和6年6月12日、令和6年10月17日)

箱根美術館

防災備品の確認や防災マニュアルの見直しを行った。

植樹をはじめ、庭園の改善整備

日本庭園の充実ならびに周辺散策道の新設、整備として、ムアスクエアから芝生広場の充実として、ランドスケープ・デザイナーのポールスミザー氏に庭園整備を委託した。(文化観光推進事業)

5. 補助金申請事業

文化観光推進事業

令和2年度に認可を受けた「文化観光推進法に基づく拠点計画及び地域計画」を、地元熱海市・静岡県および関連企業・団体との協働の元、公的助成を受けながら地域の文化観光発展のための事業を本年度も実施した。(全5年計画 本年度は最終年度)

日本博2.0事業

令和5年度まで実施してきた工芸ダイニングの継続開催を中核に、「日本の美と心」を熱海とMOA美術館から世界に発信し、2025年大阪万博に向けて多くのインバウンド観光客に訪れていただくために、独立行政法人日本芸術文化振興会の委託を受けて、国が推進している文化プログラム「日本博2.0」事業を実施した。

熱海市補助金 「熱海座」公演

能楽堂を拠点に伝統芸能やクラシック、ジャズなどの上質な舞台芸術や音楽を熱海市民の文化昂揚と観光客誘致を図り、地方創成の営みに寄与することを目的に公演を開催した。

6. 飲食及び物品販売

MOA美術館飲食コーナーの運営

観覧者に美術鑑賞をゆったりと楽しんでもいただくための周辺環境の整備として、以下、直営3店舗の運営を行った。

和食 花の茶屋

地産地消とオーガニック・自然農法素材による日本料理を提供した。

the café

シフォンケーキ、ソフトクリーム等の軽食及びコーヒー等ドリンク類を提供した。

ラ・パティスリー・デュ・ミュゼー・パール・トシ・ヨロイツカ

パティシエ・鎧塚俊彦プロデュースのスイーツ店を営業。人間国宝・室瀬和美デザインによるカップ&プレートで、ケーキ、軽食、ドリンク類を提供した。

鎧塚氏へ依頼して、新メニュー2種(当店限定のランチ)を開発した。

ミュージアムショップの運営

箱根美術館売店「光琳堂」 箱根美術館の開館日に営業を行った。
工芸ショップ（the shop ヨロイズカ） オンラインによる工芸作品販売

以 上

庶務報告事項

1. 理事会並びに評議員会開催の件

理事会を令和6年4月1日より令和7年3月31日迄に2回開催した。
評議員会を令和6年4月1日より令和7年3月31日迄に1回開催した。

(1) 理事会に関する事

開催年月日		会議事項	
R.6.5.31	議案	令和5年度事業報告及び計算書類承認の件	可決
R.6.5.31	議案	定時評議員会開催の件	可決
R.6.5.31	議案	美術品寄贈受入れ及び基金に組入れの件	可決
R.7.3.14	議案	料金等の改定について（入館料、シニア料金、団体区分変更）	可決
R.7.3.14	議案	令和7年度事業計画書、及び収支予算書 承認の件	可決
R.7.3.14	議案	人材登用の件	可決
R.7.3.14	議案	理事会、評議員会の日程案の件	可決

(2) 評議員会に関する事

開催年月日		会議事項	
R.6.6.26	報告	令和5年度事業報告の件	可決
R.6.6.26	議案	令和5年度計算書類承認の件	可決

2. 職員の状況の件

	職員	㊟・常勤	㊟・非常勤
計	119名	54名	65名

以上

資料

2024 年度美術品の貸出一覧

- | | | | |
|---------|--|-------------------|------|
| 1. 展覧会名 | 特別展「浮世絵の別嬪 ^{べっぴん} さんー歌麿、北斎が描いた春画とともに」 | | |
| 会場・会期 | 大倉集古館 | 2024年4月9日～6月9日 | |
| 美術品名 | 重文 雪月花図 | 3幅対 | 勝川春章 |
| | 重文 二美人図 | 1幅 | 葛飾北斎 |
| | | | 計 2件 |
| 2. 展覧会名 | 特別展「古裂賞玩 舶来染織がつむぐ物語」 | | |
| 会場・会期 | 五島美術館 | 2024年10月22日～12月1日 | |
| 美術品名 | 叭々鳥図 | 1幅 | 伝牧谿 |
| | 裂手鑑 松平不昧伝来 | 1帖 | |
| | | | 計 2件 |
| 3. 展覧会名 | 特別展「片桐石州 江戸の武家の茶」 | | |
| 会場・会期 | 根津美術館 | 2025年2月22日～3月30日 | |
| 美術品名 | 重文 無準師範墨跡「帰雲」二大字 | 1幅 | |
| | | | 計 1件 |
| | | | 以上 |